

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年2月14日 (2013.2.14)

【公開番号】特開2011-92725(P2011-92725A)

【公開日】平成23年5月12日 (2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2011-019

【出願番号】特願2010-242352(P2010-242352)

【国際特許分類】

A 6 3 B 45/00 (2006.01)

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 45/00 B

A 6 3 B 37/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月19日 (2012.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

実施例 1 として図 4 に示すゴルフボール 1 0 b を作製した。このゴルフボールは、直径の異なる 6 種類の円形ディンプルが配置されており、ゴルフボールの最外径を 42 . 7 mm、基準球面の直径を 42 . 5 mm、基準球面の各断面の外周長さを 133 . 52 mm とし、ディンプルの総数 N を 338 個、第 1 の凸部面積 A_{rt} を 3 . 00 mm²、第 1 の凹部面積 A_{ru} を 6 . 78 mm²、第 2 の凸部面積 A_{rt} を 5 . 59 mm²、第 2 の凹部面積 A_{ru} を 4 . 30 mm²、赤道の凸部面積 A_{rt} を 6 . 27 mm²、赤道の凹部面積 A_{ru} を 3 . 87 mm² とした。よって、第 1 の断面の面粗度 R_p は 0 . 07 mm、第 2 の断面の面粗度 R_m は 0 . 07 mm、赤道断面の面粗度 R_s は 0 . 08 となり、これらの平均である面粗度 R_{da} は 0 . 074 となった。平均凸部面積 S_{rt} を平均凹部面積 S_{ru} で除した値 S_{rt} / S_{ru} は 0 . 78 となった。 $R_{da} * N$ は 25 . 15 となった。また、 $Re_{80000} / 2000rpm$ での揚力係数 CL に対する $Re_{70000} / 2000rpm$ での揚力係数 CL の比を 85 % とした。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

また、実施例 2 として図 1 に示すゴルフボール 1 0 を、表 1 に記載したパラメータを変更したことを除き、実施例 1 と同様の設計で作製した。さらに、比較例 1 ~ 3 として、図 5 ~ 図 7 に示すゴルフボール 4 0 a ~ 4 0 c を、表 1 に記載したパラメータを変更したことを除き、実施例 1 と同様の設計で作製した。これらの結果も表 1 に示す。